

第2回 明石公園管理運営協議会 議事要旨

(資料1)

1 日 時 令和6年12月26日(木) 14:00～16:00

2 場 所 明石公園 花と緑のまちづくりセンター研修室

3 出席者 赤澤会長、石田委員、村上委員、飯塚委員、柴田委員、船田委員、古谷委員、安原委員、首藤委員、西田委員、平井委員、丸谷委員、高田コーディネーター

4 議 事

- (1) 前回のみんなの미래ミーティングの振り返り
- (2) 前回の管理運営協議会の振り返り
- (3) 市立図書館跡地の利活用計画について
- (4) 明石公園リノベーション計画実施状況について
- (5) あり方検討会明石部会で決定した石垣周辺の樹木管理について
- (6) 令和6年度事業進捗状況の報告について
- (7) 樹木管理に係る報告について
- (8) その他

5 議事要旨

(1) 前回のみんなの미래ミーティングの振り返り

高田コーディネーターより、資料1に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

○これから、みんなの미래ミーティング(以下「미래ミーティング」という。)も回を重ねていくことになると思うが、より多くの人に、兵庫県、管理運営協議会(以下「協議会」という。)、미래ミーティングの役割・関係性を事あるごとに関係図を示しながら伝え、明石公園で今こういったことを行っていると発信していく必要があると思うが、すでに考えたり実施したりしていることがあれば教えてほしい。(丸谷委員)

➡開催日程を早めに確定し、県・公園のホームページ等で告知・広報するようにしている。また、参加者に意識して口コミを広めるよう声かけしている。さらに情報収集・集約の場となるような拠点を試験的に整備しようとしている。(高田コーディネーター)

○地域住民と立ち上げた미래ミーティングを明石公園の象徴的な取り組みとして育てていってほしい。また、利益を抜きに自発的に明石公園に貢献する活動がどうすれば生まれるのか考えてほしい。(村上委員)

➡みらいミーティングの基本理念として示したものがまさに 2 つめの意見である。県予算だけでは難しい草刈をやるかという声が利用者から出ていたりもする。今後はこれらを公園のプロジェクトとして動かすフェーズに入っていくと考えている。(高田コーディネーター)

○協議会やみらいミーティングの活動は、明石公園に強い関心がある人以外にはなかなか浸透していないと感じる。パピオス明石の大きなモニターで目立つ広報をすれば、明石の方々も自分たちの公園・お城という意識になるのでは。武蔵の庭園もあまり押し出されていないので、制約がなければアピールにいいのでは。(飯塚委員)

○みらいミーティングには、自然が好きな方やお子さんと利用する方が参加し、多くの意見が出ている。文化財に興味のある人にも参加してもらって意見をもらってはどうか。実際に明石公園で活動しているグループにも参加してもらえたら幅が広がるのではないか。(柴田委員)

○明石公園の重要な役割の一つに生物多様性の保全があるが、これに関する意見交換・議論はあまりなされていないように思う。現状維持だけでなく、さらに良くするための取り組みの検討もしてもらえるとよい。(石田委員)

(2) 前回の管理運営協議会の振り返り

公園緑地課より、資料 2 に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

○みらいミーティングはテーマ型の議論のため、特定のテーマに偏る可能性がある。協議会の多様なメンバーにアドバイスをいただき、みらいミーティングに反映する形で補ってもらえたらと思う。(高田コーディネーター)

○テーマに関係する協議会委員の方に、みらいミーティングに参加してもらうなど、橋渡しの方法について整理してもらえるとよい。(村上委員)

○障害者といっても本当に様々な人がいるが、こういった風に参加していくと良いか教えていただきたい。(飯塚委員)

➡障害のある方がこういった会議の場に参加するには一つハードルがあると思う。みらいミーティングを子どもの村での遠足に合せて実施するなど、現地型での対話の場があってもいいのでは。こういった形態が参加しやすいかアドバイスをいただきたい。(高田コーディネーター)

○明石公園のあり方検討会で、2 年間、県民の皆さんと一緒に考えていただき、協議会やみらいミーティングができたということを、これらの関係図にしっかり書き加え、未来へつなげていただけるようぜひともお願いしたい。(丸谷委員)

(3) 市立図書館跡地の利活用計画について

明石市より資料3に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

- ワークショップやみらいミーティングなどの限られた人数にしか意見を聞いていないので、明石公園での大きな行事の際にシールを貼ってもらうなど、たくさんの意見を聞いて後から想定外の意見が出るといったことがないような進め方を意識した方が良いと思う。他とは違う明石公園の突出したものと良いとも思う。(安原委員)
- 資料5 ページの4-1に「新施設は、多くの人に愛される公園施設となるよう市において検討」とあるが、県立公園内の一施設について、市だけで考えていいのか、あるいは県と調整済みなのか。県はこのエリアだけ市に任せるという認識なのか。(村上委員)
- ➡市だけで考えて計画を進めるという訳ではなく、市が検討する内容を情報交換しながら協議をすすめていき、最終的に合意した内容で設置許可をだすことになります。(公園緑地課)
- ➡市民県民にとって、また明石公園にとって、より魅力的で色々な使い方ができるような施設を考えていこうと、知事とも合意形成をしているので、対話の場、ワークショップなどで多くの方の意見を聞いて検討していきたい。新施設は、居場所的な役割を持った施設として、施設完成後も市民県民の皆さんが、それぞれの使い方の中で進化させて、より魅力的な公園になるような施設としたい。(丸谷委員)

(4) 明石公園リノベーション計画実施状況について

公園緑地課より資料4に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

- 花と緑のまちづくりセンターには利用者が交流するための拠点というイメージだと思いますが、市立図書館跡地にできる拠点は、もっと様々な形で活用できる場所として区別している感じでしょうか。(平井委員)
- ➡今後、ある程度具体化していくなかで、役割分担などを考えていきたい。(公園緑地課)
- 資料の樹林管理の枠にある「落葉樹林への変換を目指した間伐等の樹林管理」に取り消し線がしてあるが、いま常緑樹林が主体の明石公園の生物多様性を高めるには落葉樹林のゾーンを増やしていくのは適切な方向性と考えられる。なぜこういう形になったのかお伺いしたい。(石田委員)
- ➡みらいミーティング等で常緑樹林が明石公園の価値という意見も一定数きかれていたため、現在は検討中。(公園緑地課)
- 何も切らない、変えないではなく、ゆっくり時間をかけて、変えるところと変えないところをはっきりさせ、ゾーニングや目標植生などを考えてい

くことで、明石公園の樹林の将来像がみえてくるのでは。(赤澤会長)

○尼崎の森中央緑地では、きっちりとゾーニングし、公園全体の生物多様性を高めようという先進的な取り組みを行っている。明石公園でも一度そういった視点で考えてみてもよいのでは。(石田委員)

○インクルーシブ遊具ができてから、あおぞら園とゆりかご園で計 4 回ほど遠足に来ているが、障害のある子どもを含む団体が来ても、元いた親子連れは帰るのではなく一緒に遊んでいた。設置いただき感謝している。(飯塚委員)

(5) あり方検討会明石部会で決定した石垣周辺の樹木管理について

公園緑地課より資料 5 に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

○資料にて赤字で表示されている石垣のところは本来土堀で、木はない場所である。水はけのためのところに木が入ってしまっており、土が入りやすくなって石垣を壊す可能性が高くなっている。また、ウバメガシは、おそらく近代以降に植えたものである。(村上委員)

○明石公園で会った方と話していると、石垣の際の木を切らなければいけないと聞かれ、石垣が崩れる恐れがあるのでと説明してもなかなか納得してもらえなかった。こういった疑問を持っている人がまだたくさんいるので理解してもらうことが必要と思う。(柴田委員)

○以前大きく伐採した際、石垣が見えてきれいだと周囲の評価が変わった、ということもあった。木や場所に思い入れのある人が反対しているのかなと思う。(安原委員)

(6) 令和 6 年度事業進捗状況の報告について

加古川土木事務所より資料 6 に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

○石垣測量の際、石垣の際にヤブサンザシという希少種が 1 株だけあるのを残してもらいたい。(柴田委員)

○こども広場の遊具更新について、広場の木に希少種を移植しているところがあるので、きちんと把握して配慮をお願いします。(丸谷委員)

(7) 樹木管理に係る報告について

兵庫県園芸・公園協会より資料 7 に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

○チップや薪について、古くなる前に、イベントなどで販売や配布をした方がよいと思う。(安原委員)

○大阪府営公園では、安全なエリアでは倒木を倒しっぱなしにして自然観察に活用などしている事例もある。(赤澤会長)

○明石公園は土壌が浅く、樹木がかなり大きくなっているため、倒木のリスクがあがっている。今後たくさんの木が倒れると思うので、伐採木の処理方法について考えておくべきである。朝来市ではバイオマス発電をしているが、樹木が足りていないようなので連携してはどうか。(石田委員)

(8) その他

○スポーツの観点からだと、県やスポーツ協会でもアーバンスポーツの普及を進めているので、そういった話も検討いただけたらと思う。(船田委員)

○近辺に気軽に子どもと集まって利用できるような貸し部屋はあまりない。新しい施設ではそういったところを考えてもらえると嬉しい。(古谷委員)

○協議会やみらいミーティングを、天候が良い日に、近隣住民が通勤通学で通る公園の広場などで行うことで、公園利用者等の目につき興味を持ってもらい参加してもらえるようになるのではないか。(西田委員)

○公園だけのイベントだけでなく、まちとのコラボや相互での情報発信などを行うことで、公園からまち、まちから公園へと人の流れができ、賑わいになるのでは。(安原委員)

○これまでの関わってくださった方々はもちろん、まだ関わっていない方とどうつながりを持つかの方向性が確認できた。様々なニーズに対し実現へのハードルを下げていく体制を作っていけたらと思う。(赤澤会長)

6 連絡事項

兵庫県園芸・公園協会より以下3点について連絡。

- ・会議資料は12/27(金)に明石公園HPにて公開予定。
- ・今回の協議会の議事要旨は1カ月を目途に、公園ホームページに公開予定。
- ・第3回の協議会の開催については、県や委員の皆様と調整を行う。

以上